



自衛隊栃木地方協力本部

7月1日募集解禁！！！！

～大田原地域事務所で5つの作戦でPR～



事務所前でPRする広報官



相談員及び家族会の支援
(学生への声かけ)



事務所前でPRする広報官

自衛隊栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 高井 1 陸尉）は、7月1日（月）から7月5日（金）の間、募集解禁に伴い市街地広報「自衛隊を知ってもらうキャンペーン」に打って出た。

大田原地域事務所は、現在、少子化に伴い、募集状況も厳しく、入隊者が減少傾向にあるため、所長以下全員で、栃木地本本部、募集相談員、家族会、防衛協会等の支援を受け、5つの作戦を決定した。

作戦1、大田原管内主要駅においてのPR活動（人に、話しかける）

作戦2、主要道路における1/2tトラックによる巡回広報（人に、見せる）

作戦3、卒業生を伴った学校訪問（人に、自衛官に触れてもらう）

作戦4、地域ポスティング及び回覧板広報3万枚（人に、知ってもらう）

作戦5、事務所前にパジェロ展示及び旗振り（地域事務所の存在アピール）

期間中は、総力戦で挑んだ。特に駅での市街地広報では、駅ロータリーをパジェロが巡回。また、臨時勤務中の菊地士長（東部方面特科連隊第2大隊所属の女性自衛官）及び募集相談員及び家族会が応援に駆けつけてくれ、積極的に学生に声を掛け、自衛隊のPRをしてくれた。

大田原地域事務所は「今後も、地域の協力者と連携し、『知ってもらう』広報で募集環境の更なる強化を図っていく」としている。



自衛隊PRティッシュを作成する菊地士長



駅前での市街地広報

